様式7-1

歯科麻酔専門医研修修了実技評価シート

受験者氏名（自筆）：

研修施設：

評価日：　　　　年　　月　　日

評価者（歯科麻酔指導医）（自筆）：

履修科目（１.全身麻酔）

症例の概要：

１.全身麻酔　歯科麻酔指導医の評価（チェックシートによる客観的評価）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 歯科麻酔指導医の評価 | 歯科麻酔指導医コメント  評価が「不十分」の場合には必ず理由を記載 |
| １.術前管理 | a.全身麻酔の術前評価 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.全身麻酔の方法、合併症などの説明 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.術前指示 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| d.関連部門との手術室管理 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ２．気道確保 | a.マスク換気 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.経口挿管  経鼻挿管 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.声門上器具 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| d.ビデオ喉頭鏡 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| e.ファイバースコープ挿管 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| f.気管切開管理 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ３．術中管理 | a.麻酔器の始業点検 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.静脈路確保 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.呼吸管理  人工呼吸器の適正使用 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| d.循環管理  徐脈、頻脈、血圧低下、血圧上昇に対する適切な対応 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| e.体液・電解質管理 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| f.輸血管理 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| g.覚醒および抜管 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ４．術後管理 | a.適切な酸素療法 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.モニター | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.術後疼痛管理 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ５．日帰り全身麻酔（該当症例のみ） | a.適応の判断 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.帰宅の判断 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |

歯科麻酔専門医研修修了実技評価シート

受験者氏名（自筆）：

研修施設：

評価日：　　　　年　　月　　日

評価者（歯科麻酔指導医）（自筆）：

履修科目（２. 静脈麻酔および精神鎮静法）

症例の概要：

２. 静脈麻酔および精神鎮静法

歯科麻酔指導医の評価（チェックシートによる客観的評価）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 歯科麻酔指導医の評価 | 歯科麻酔指導医コメント  評価が「不十分」の場合には必ず理由を記載 |
| １.術前管理 | a.静脈麻酔および精神鎮静法の適応の判断 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.術前指示 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ２．静脈麻酔および静脈内鎮静法 | | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ３．亜酸化窒素吸入鎮静法  　（笑気吸入鎮静法） | | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ４．鎮静深度の評価 | | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ５. 鎮静中の気道管理 | | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ６.帰宅の判断 | | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |

歯科麻酔専門医研修修了実技評価シート

受験者氏名（自筆）：

研修施設：

評価日：　　　　年　　月　　日

評価者（歯科麻酔指導医）（自筆）：

履修科目（３．全身管理）

症例の概要：

３. 全身管理　指導医の評価（チェックシートによる客観的評価）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | 歯科麻酔指導医の評価 | 歯科麻酔指導医コメント  評価が「不十分」の場合には必ず理由を記載 |
| １. 麻酔管理上問題となる疾患の管理  （右記の患者に対して、モニタリング、精神鎮静法、全身麻酔法における管理を安全に施行できる、指導できる） | a.呼吸系疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.循環系疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.脳血管疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| d.代謝・内分泌疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| e.消化器疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| f.腎疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| g.精神疾患 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| h.高度肥満 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ２．口腔外科手術と全身管理  （右記の手術症例に対して、モニタリング、精神鎮静法、全身麻酔法における管理を安全に施行できる、指導できる） | a.抜歯および膿瘍切開術 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.顎顔面外傷手術 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.顎変形症に対する外科的矯正術 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| d.腫瘍切除および再建術 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| e.唇顎口蓋裂手術 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ３．歯科治療における全身的偶発症（右記の全身偶発症に対して専門医としての十分な知識を有し、患者管理ができる） | a.過換気症候群 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| b.血管迷走神経反射 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| c.局所麻酔薬中毒 | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| d.アナフィラキシーショック | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |

歯科麻酔専門医研修修了実技評価シート

受験者氏名（自筆）：

研修施設：

評価日：　　　　年　　月　　日

評価者（歯科麻酔指導医）（自筆）：

履修科目（４.心肺蘇生法）

概要：

４. 心肺蘇生法　指導医の評価（チェックシートによる客観的評価）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価項目 | 歯科麻酔指導医の評価 | 歯科麻酔指導医コメント  評価が「不十分」の場合には必ず理由を記載 |
| １.BLS | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |
| ２．ALS  （AHA、JRCのガイドラインに準拠したプロバイダーコース受講証明書で代用可） | □十分習得している  □習得している  □不十分 |  |